

なかよし！キッズ荒神っ子クラブ

開催しました！

彦根市荒神山自然の家自主事業である「なかよし！キッズ荒神っ子クラブ」。社会情勢もようやくすこし落ち着きを見せだんだん元に戻りつつあるとはいえ、定員を例年どおりの枠に設定したものの実際何名の応募があるか不安ななか開催準備を始めました。11月に入って第2週の11日の土曜日。当日は、小学校1年生から3年生までキッズ9人の子どもたちがここ、彦根市荒神山自然の家に集まってくれました。週間天気予報では、情報が幾多にも変わっていくなか土日が崩れるパターンと寒気が入ってくるということで気温がやや低めという感じでした。前日までの雨も上がり迎えた当日、天気予報通り晴れと思っていたのですが、曇り空で、朝方の気温は前日までとは異なり少し冷え、風も吹いておりやや肌寒さを感じた日となりました。しかしながら、はじまる頃には日差しもたっぷり注ぎ込み、小春日和を感じる日となってきました。そのような中でいよいよ「なかよし！キッズ荒神っ子クラブ」のスタート！内容は、安全、安心をモットーにキッズ達が自然の家で楽しい1日を過ごすことができるように開催していこうということでさまざまな面に配慮しながらの取り組みとしました。はじめのつどいには始まり、自己紹介タイム、秋の荒神山チャレンジハイキング、おやつタイム、昼食、工作、おわりのつどいと流れていきました。はじめのつどいには、予定していた子どもたち全員が元気に参加しました。どの顔にも、すこしばかりの緊張感とわくわく感がただよってはいたものの、初めて見るお友達になんとなくギクシャク。いよいよキッズ荒神っ子クラブのスタートです。まずは班ごとに集まって、ボランティアスタッフのリーダーが中心となって自己紹介から始まりました。最初緊張していた子たちも和やかな雰囲気となり次第に笑顔が増えていきました。次の活動は、「荒神山チャレンジハイキング」です。秋の1日、自然を感じてもらおうと自然の家の敷地や隣接の荒神山公園内を散策します。ただ、散策するだけでは面白みがないので、午後からの工作の材料収集も兼ねての散策。どれだけ秋の材料を集められるか。



コース地図をたよりにクラフト棟をスタートします。ゴールは同じクラフト棟。途中、工作で使う木の実や木の葉などを集めて小一時間かけて全員が完歩しました。



クラフト棟に到着して工作に移りたいところですが、そのまえにおやつとしてポップコーン作りがありました。はじける音を楽しみにしていましたが、なんとなく聞こえたような・・・？だんだん膨らんでいくポップコーンの容器にわくわく感が漂っています。ポップコーン

はかおりもこおぼしく、おいしくできあがりました。ポップコーンをそれぞれシェアしてそれぞれが少しずつほおぼり、しばしの休息。

その後集めてきた「どんぐり」や「木の実」を使ってコマづくりをします。どんぐりや木の実を熱湯消毒した後、コマづくりをしました。出来上がったコマを楽しそうに回している姿が印象的でした。ただ、コマをスムーズに回す力の入れ具合やコツがつかめないキッズ達。それでも要領をつかんで回ったコマに感動のワンシーンも見受けられました。わずかばかりの時間を費やしてコマづくりに専念した後の昼食は自然の家の食堂提供の「サンドイッチ弁当」です。野外クッキングも一時は計画をしましたが、断念。時短ができる形になりました。



午後からは、工作活動。先ほどのハイキングで集めてきた木の実や木の葉を使って行



います。たっぷり集めてきたのでコマを作ってもまだたくさんの材料が手元にあります。その材料を使って松ぼっくりでクリスマスツリーづくりです。10cmほどの台座にいくつかの松ぼっくりを重ね、ボンド等で接着した後飾り付けをしたり、色を吹き

付けたりとさまざまな工夫をして形よくまた、見栄えがするようデコレーションをして作ります。時間があればコロボックル（松ぼっくり人形）を作る予定でしたが、それぞれの工作に熱中して時間のたつのも忘れて活動が続いたため終了予



定時刻になってしまいました。コロボックルは一人ひとりに材料を渡し、自宅でその続きをしていただくということになりました。自宅でもきっと楽しく、またユニークなコロボックルができたことでしょう。最後に、終わりのつどいをして、解散しました。早速、子どもたちは、保護者の方に今日の活動を笑顔で話したり、出

来上がった作品を自慢げに見せている姿が見られました。

なお、この事業を行うために、10月29日（日）に支援スタッフに向けた事前研修会を開きました。工作ではなれない面もありましたが、意欲的に活動できました。事前研修会をすることによりスタッフも当日の流れや内容が把握でき、当日はゆとりを持ち子どもたちに関わることができていたと感じます。これからも子どもたちにかぎらず幅広い年齢層の方々が、荒神山自然の家に来て、たくさんの友だちとの出会いやお互いに楽しい時間が過ごせるように、さまざまな企画を考えてみなさまのおいでをお待ちしています。